

調査事例：職場騒音〔コンクリートミキサー車はつり作業〕

環境・健康

コンクリートミキサー車のドラム内に入って、羽根等金属部についたコンクリートをハンマーで叩いてはつり作業をしていたところ、作業者の左耳に耳鳴りがして聞こえなくなりました（傷病名：左音響外傷、急性感音難聴、左耳耳鳴り症）。

当社の労働衛生コンサルタント（三重産業保健推進センター相談員）が、当該作業場の騒音測定の依頼を受け調査した結果を下記に示しました。上記はつり時の単発騒音ばく露レベルは121～126 dB(A)でしたが、作業姿勢と騒音のひろがりの方向性によっては、さらに高い騒音のばく露を受けることがうかがえました。また、左耳のみに音響外傷を受けた原因として、当該作業者が右利きのため、右耳よりも左耳の方がはつり音のばく露を受けやすいことが考えられました。

コンクリートミキサー車ドラムはつり作業の騒音測定結果

測定方法	単発騒音ばく露レベル（A特性）
測定機器	普通騒音計 NL06（リオン） レベルレコーダー LR-06（リオン）
測定位置	はつり作業者の耳元
測定結果	平均 123.6dB(A)〔121 dB(A)～126dB(A)〕

kes サポート

課 題	kes サポート
作業環境の管理状況の調査	作業環境測定
衛生診断、リスクアセスメント	作業環境測定、健康診断結果等に基づく衛生診断 リスクアセスメントの実施
衛生意識の向上	労働衛生教育